

日本史概説		講義	教授 中村 光一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養選択科目、スポーツトレーナーコースの教養選択科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11220105 12220126 13220131	

1. 授業のねらい・概要

日本の歴史を時代区分した場合、古代・中世・近世・近現代の4つに分ける考え方がある。もし1 Semesterの中でこれらすべてを網羅的に見ていくとすると、一つの時代についておよそ3, 4コマで対応することになるが、これでは大学生にとっての教養科目としてあまりに茫漠たる内容とならざるをえない。

そこで、本講義は対象を8, 9世紀のおよそ200年間にしぼり、その間のわが国の政治、社会、文化の様相を見ていくことで日本史の概説にあてたいと思う。

対象をこの時期とした第一の理由は、講義担当者がこれまで8, 9世紀史を主な研究対象としてきたことである。第二の理由は、「律令国家」の時代と呼ばれるこの時期に、前近代を規定する様々な法制度が確立されていること、また、この時期に都の置かれた奈良・京都が古都として、今日でも日本人のいわば「心のふるさと」としての地位を占めていると考えるからである。高校の日本史の時間であればわずかな時間の講義で終わってしまう部分を、じっくりと解説していきたいと考えている。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を進めるが、受講生の理解をより深めるため、パワーポイント等のAV機器を活用したいと思う。

3. 授業計画

1. 7世紀後半期の東アジア情勢と日本	9. 奈良朝政治の諸相④ 称徳・道鏡政権
2. 律令国家の構造①—統治のしくみ	10. 光仁から桓武へ
3. 律令国家の構造②—一般農民の生活と税の負担	11. 『万葉集』の時代
4. 藤原京から平城京へ	12. 征夷と造都
5. 奈良仏教	13. 三代の平安
6. 奈良朝政治の諸相① 長屋王の悲劇	14. 平安貴族の生活
7. 奈良朝政治の諸相② 天然痘と奈良朝政治	15. まとめ 一律令国家二百年をふりかえって
8. 奈良朝政治の諸相③ 藤原仲麻呂政権	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前の回の講義時間の中で紹介する参考文献等を、次回の講義時間までに目を通しておくこと。この準備学修には、2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験の際、受験者に対して出題意図・解答のポイントについて解説を行う。

6. 授業における学修の到達目標

「日本古代史」について理解を深め、講義で取り上げた事項についてそれぞれ簡単な説明ができる程度の知識を有すること。

7. 成績評価の方法・基準

試験の結果（70%）、授業への取組み姿勢（30%）。講義への積極的な参加を希望する。

8. テキスト・参考文献

テキストは特に指定せず、必要に応じて講義プリントを配付することがある。その試験持ち込みは不可であるため、

ノートを別に用意して講義を受講すること。参考文献は講義の中で随時紹介していくので、図書館を利用するほか、新書レベルの書籍は各自購入して読むように心がけてほしい。

9. 受講上の留意事項

授業に出ることは必要条件であって、けっして十分条件ではない。また、授業では「ノートに写す」ことも必要だが「ノートを作る」ことも重要である。板書、投影したものを単に写していただくだけでは、本当にその講義の内容を理解したことにはならないということに気づいてほしい。なお、本講義では歴史上の人物や法令など固有名詞が頻出するので、あらかじめ高校程度の日本史の知識を修得しておいてほしい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、博物館学芸員としての実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。